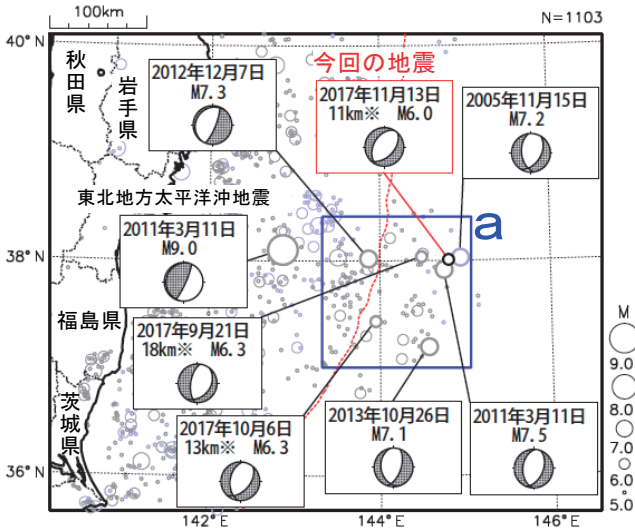


# 11 月 13 日 三陸沖の地震

## 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 11 月 30 日、  
深さ 0～100km、M $\geq$ 5.0)

2011 年 3 月 10 日以前に発生した地震を薄い○、  
2011 年 3 月 11 日以降に発生した地震を薄い○、  
2017 年 11 月の地震を濃い○で表示  
図中の発震機構は CMT 解

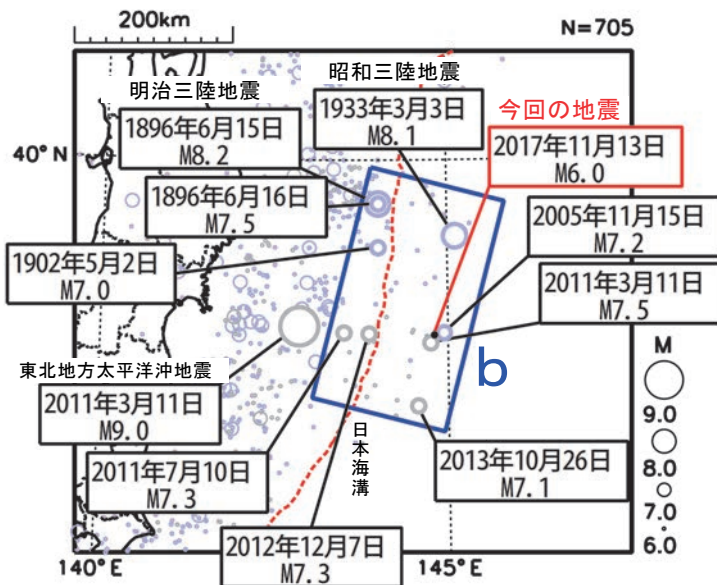


※地震の深さは CMT 解による

## 震央分布図

(1885 年 1 月 1 日～2017 年 11 月 30 日、  
深さ 0～100km、M $\geq$ 6.0)

2011 年 3 月 10 日以前に発生した地震を薄い○、  
2011 年 3 月 11 日以降に発生した地震を薄い○、  
2017 年 11 月の地震を濃い○で表示

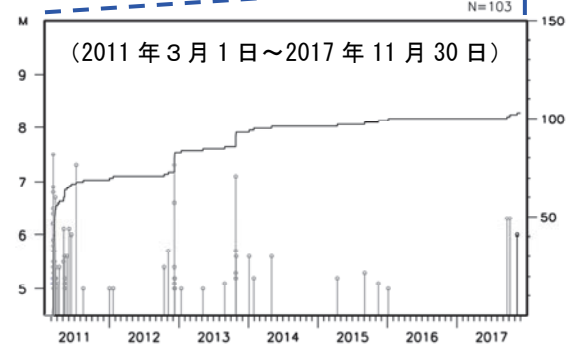
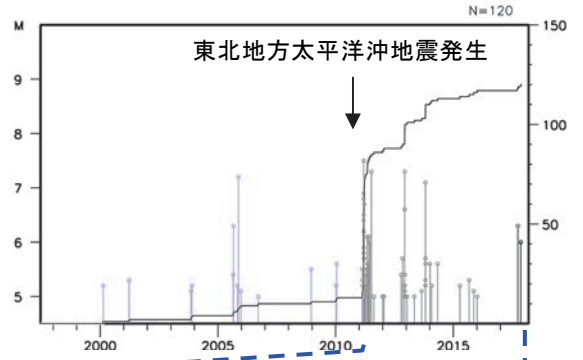


2017 年 11 月 13 日 07 時 24 分に三陸沖の深さ 11km (CMT 解による) で M6.0 の地震 (最大震度 2) が発生した。この地震は日本海溝の海溝軸の東側の太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

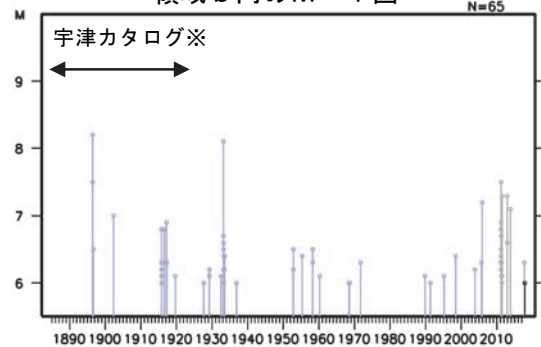
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では、M6.0 を超える地震が時々発生しており、東北地方太平洋沖地震の発生以降、M7.0 以上の地震が 4 回発生するなど地震活動が活発化している。

1885 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、M8.0 以上の地震が 2 回発生しており、1933 年 3 月 3 日に発生した「昭和三陸地震」(M8.1) では、岩手県三陸町綾里湾で 28.7m (平均海水面からの高さ) の津波が観測され、北海道から宮城県にかけての沿岸で死者・行方不明者 3,064 人の甚大な被害が生じている (「日本被害地震総覧」による)。

## 領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



## 領域 b 内の M-T 図



※宇津 (1982, 1985) による